

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第143号



ショートショートの魅力

少しづつ暖かくなり春らしさが感じられる頃となりました。各受験も落ち着いてきた頃でしょう。そして、新小6生や新中3生の皆さん。次はあなたたちの番です。約一年後に心から笑うために、今のうちから準備を精いっぱいしておきましょう。そして、他の学年の人たちも新年度の勉強に向けて今までの勉強の復習をしっかりしておきましょう。

さて、二月より開始した「文章を読んで要約する講座」ですが、様々な学年の生徒たちと一緒に和やかに楽しい授業を現在展開中です。この講座の目標の一つは読書の楽しみを知ってもらうことです。個人的には何百ページもある分厚い小説も好きですが、今まではあまり読んでこなかった生徒にはいきなり長い小説を読んでもらうことは難しいでしょう。どうしたら生徒たちにとって面白いなと思ってもらえるのか、悩みに悩んだ結果たどり着いた一つの答えが「ショートショート」です。

「ショートショート」とは小説の中でも特に短い小説のことです。日本の文庫本で1ページから数ページで収まる長さの短編小説であり、「新鮮なアイデア、完全なプロット、意外な結末」の三原則が盛り込まれたものと定義されています。要するに「ショートショート」は非常に短い小説のことです。分もあれば誰でも読み切れる長さの小説です。様々な作家が書いていますが日本で特に有名なのはショートショート神様、星新一です。一度は彼の小説を読んだことのある人もたくさんいるでしょう。というのも学校の国語や英語の教科書にも「おーい」でてこーい」をはじめとして、非常にたく

さん採用されているからです。彼の小説は短いながらも非常に考えさせられるような内容のものもありますし、短いからと言って中身がないわけでもありません。実際に授業の中でも使っているのですが、どの生徒も楽しく読んでくれていきます。読書を始めたいけれど長い文章を読むのが苦手だという人は星新一のショートショートから読み始めてみるのはいかがでしょうか？ちなみに授業では「きまぐれロボット」を使用中です。また世間的に最も有名な本は「ポッコちゃん」だと思います。気になる方は本屋さんで一作品でも読んでみてください。一日五分でも読書をする習慣がつけば、きっと他の本も読んでみたくなるはずです。これからも引き続き「文章を読んで要約する講座」で何をしていますのか、皆さんにお伝えしていきますね。

また、公立中・附属中の新中3生の皆さんに関しては、今回親子説明会の形式をとらせて頂いておりますので、できれば塾生と保護者様と一緒に参加下さいね。なぜ新中3生は親子説明会の形式なのかというと、中学生最終学年になる皆さんにとっては、新年度の一年間を特に、大切な時間として認識していただきたいからなのです。新中3生の皆さんはもう色々なことを自分で考えられるようになってきているはずで、自分の進路・目標を考える、やりたいこと・逆にやらなければいけないことをとらえる、そのためには自分自身が変わらなければいけないということ等、見つめ直すべきことが多くあるはずです。今回の親子説明会を自分のこととしてとらえる時間として、新中3生には参加していただきたいので、宜しくお願い致します。

(宇都宮先生)

算数と国語と英会話の学童
第一駅前学童
2024年春開校
児童募集
学年から勉強の習慣をつけよう

ゼミ/中学部だより

2024年春期保護者会が3月3日(日)に開催されます。中学部では、公立中・附属中(新中1生・新中3生)を対象にした部が13:30~14:30、城ノ内・文理中(新中1生・新中2生)を対象にした部が15:30~16:30で開催されます。

また、両方とも春期講習会の概要はもちろんのこと、高校入試や大学入試関連の最新情報、新教育関連、さらには新学年への心構えや勉強のポイント等をお伝え致します。

また、公立中・附属中の新中3生の皆さんに関しては、今回親子説明会の形式をとらせて頂いておりますので、できれば塾生と保護者様と一緒に参加下さいね。なぜ新中3生は親子説明会の形式なのかというと、中学生最終学年になる皆さんにとっては、新年度の一年間を特に、大切な時間として認識していただきたいからなのです。新中3生の皆さんはもう色々なことを自分で考えられるようになってきているはずで、自分の進路・目標を考える、やりたいこと・逆にやらなければいけないことをとらえる、そのためには自分自身が変わらなければいけないということ等、見つめ直すべきことが多くあるはずです。今回の親子説明会を自分のこととしてとらえる時間として、新中3生には参加していただきたいので、宜しくお願い致します。

(工藤先生)

新学期に向けて

桃の節句であるひな祭り、春の訪れを感じるこの頃、私の家では桃の花がちらほら咲き始めています。さて、この時期は、新しい学年への準備を始め、新たな目標を立てる絶好の機会です。新学年が始まる前に、自分自身に問いかけてみましょう。「去年、達成できなかったことは何か?」「新しい学年で挑戦したいことは何か?」「自己反省と目標設定を通じて、成長するための第一歩を踏み出すことができます。」

もちろん!徳島第一ゼミとしても、皆さんが新しい学年にスムーズに移行できるように、様々なサポートを用意しています。春休み期間中の春期講習会はもちろん、講習後の新学期に向けた個人面談なども、ぜひご利用ください。春は新しい始まりの象徴です。新しい学年での成功に向けて、今から準備を始めましょう。私たちは皆さんの学習を全力でサポートします。新しい季節、新しい挑戦に向けて、一緒に頑張りましょう!

(日下先生)



新年度の学習のススメ

新年度の授業がスタートし、はや1か月。新しいテキスト、新しい教室、新しいメンバーでの授業が毎日のように行われておりますが、そろそろ慣れてきた頃合いかなと思います。しかし「慣れ」というのは、良い意味も悪い意味も含まれています。リラックスして勉強に打ち込めるというプラスの意味もあれば、「慣れ」が「飽き」となってしまう、逆に勉強量が減ってしまうこともあります。そうならないためには、ただ漫然と勉強をするのではなく、きちんと目標やルールを決めて勉強に向かうことが大切です。以下のことを見直してもらいたいと思います。

①目標を明確にする

勉強に向かう皆さんにとって、最も分かりやすい目標は「志望校合格」だと思います。しかしその志望校が、本当に自分が望んでいるものでなければ効果はあまりありません。なぜその学校へ進みたいのか、そこへ進んで将来どのような自分になりたいのか。目標が明確であるほど、それが日々の学習への大きなモチベーションとなります。自分で考えるのが難しい人は、家族や先生などの大人と一緒に考えてみましょう。

②毎週のルーティンを決める

学校や塾の時間割というものは、なぜ毎週決まっているのでしょうか。時間が決まっていることで、日々の学習計画を立てやすくなるからです。月曜は算数のテキスト、水曜は国語の文法と理科の基本テキスト、というように、毎日のやるべきことはある程度決めておきましょう。しかしあまり重すぎる目標を立ててしまったり、一度それが崩れたときにすぐにモチベーションが失われてしまったりして、余裕を持って勉強に取り組みできるようにしましょう。また計算問題や漢字学習など

は、いわゆる「毎日コツコツ型」の学習が適しています。計算問題を一日で一気にとっても、最後のほうは疲れ切っていて、あまり効果的ではありません。一日一ページで構いませんので、必ず毎日集中して少しずつ進めるようにしましょう。

(小倉先生)

徳島県公立高入試

暖かくなったと思えば、また急に気温が下がり、と非常に体調を崩しやすい季節ですね。また、花粉症が私自身もひどく、目・鼻・喉のかゆみや痛みと日々戦う毎日です。皆様も体調管理には十分気を付けてください。

いよいよ3月5日、火曜日に徳島県公立高入試が実施されますね。現中学3年生にとっては3年間の集大成。いかに実力を発揮して、みんなが思い描く未来をつかみ取りにいきたいと思います!!

誰しも緊張して当たり前。その緊張を和らげる一番の薬は、やはりみんなが今まで積み重ねてきた努力に裏打ちされた自信だと思えます。徳島第一ゼミの中学3年生は、他のどの生徒よりも努力し、学問に真剣に打ち込んできたことを確信しています。

実力をすべて出し切り、晴れやかな気持ちで試験が終えられるよう、心より願っています。徳島第一ゼミ生、いざ輝く未来へ羽ばたけ!!

(竹田先生)

